



Okinawa Miyako Hospital

沖縄県立宮古病院

基幹型初期臨床研修プログラム

パイカ星



南十字星



「パイカ星」

募集要項



宮古島について

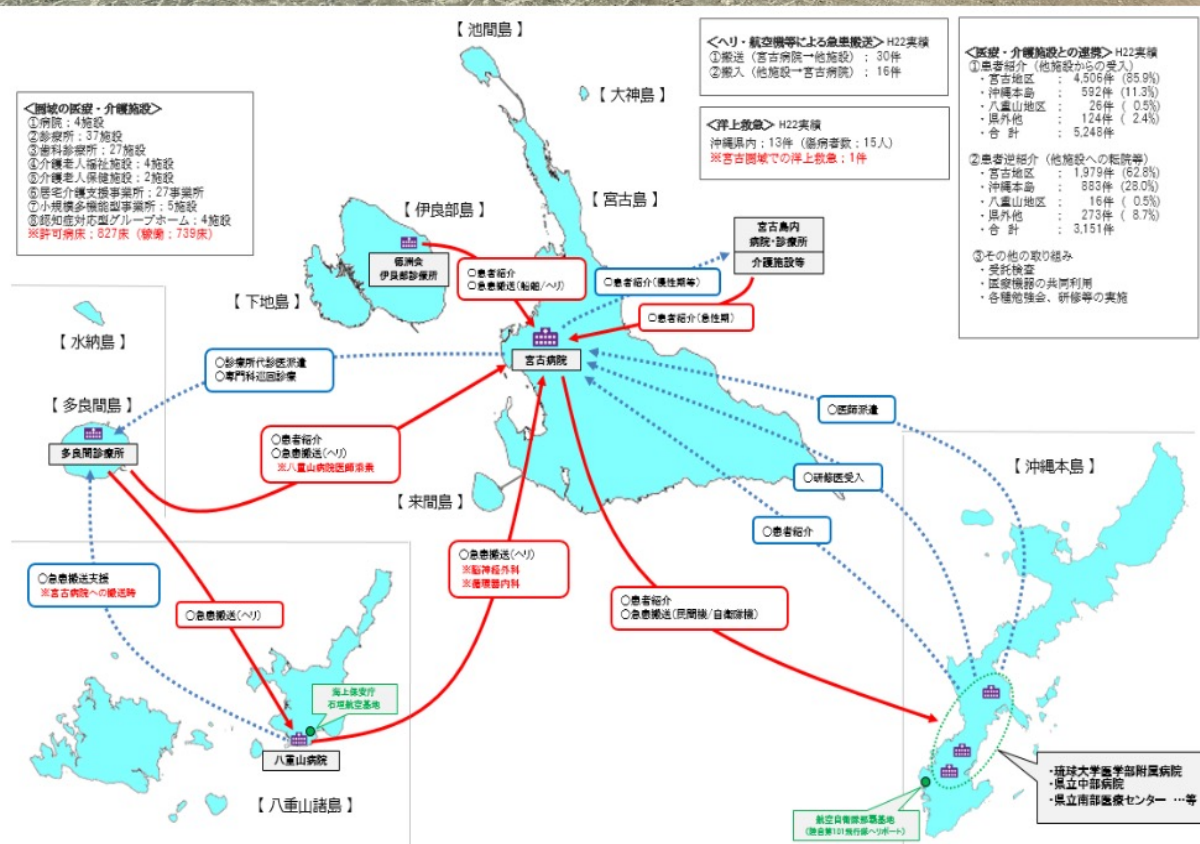
宮古圏域の状況 (R4年2月末時点)

有人島: 8島(うち3島は架橋あり)
人口: 55,375人 男: 27,996人 女: 27,379人
世帯数: 28,738戸
観光客: 約 80万人/年
面積: 225.651 km²
病院、診療所数: 病院 4施設、診療所 33施設

宮古島は、東京から約2,000km、沖縄本島から南西に約300km、北緯24~25度、東経125~126度に位置し、平均気温23度・平均湿度80%という、南国・亜熱帯気候の島です。

宮古島市の総面積は204平方km、人口約55,000人で、人口の大部分は平良地区に集中しており、島全体がおおむね平坦で低い台地状を呈し、山岳部は少なく大きな河川もなく、生活用水等のほとんどを地下水に頼っています。また、圏域には有人島が宮古島を含め8島あり、そのうちの3島には宮古島とを結ぶ架橋が整備されております。

そういった環境の中で、宮古病院は、救急医療、結核・感染症、災害拠点、各科基本専門家医療の提供、精神科医療、さらには周産期医療など地域支援病院としての性格を強く備え、離島宮古群島における、医療の中心的役割を担っています。



宮古島の生活環境について

みなさんは、「宮古島」についてどのようなイメージをお持ちでしょうか？
きれいな海、さとうきび畑、青い空、マリンスポーツ、トライアスロン・・・島内は自転車で移動できる？
日用品の買物ができる店はあるの？ 大きな台風が直撃する？

宮古島は、沖縄県内では、本島、西表島、石垣島に次いで4番目に大きな面積をもつ島です。
島一周は約100kmあるため自転車のみの移動は大変ですが、道路はしっかり整備されていますので、
車、バイクがあれば、島内どこへ行くにも困りません。

また、病院周辺の市街地には、コンビニ、スーパー、家電量販店、ファーストフード店などがあり、日常生活で困ることはありません。インターネットサイトの通信販売も利用できます。確かに、大きな台風が年に
数回、島を直撃しますが、宮古島の家屋は台風対策がしっかり施されているため、家の中にいれば大丈夫です。

宮古島は、みなさんが考えているよりもずっと暮らしやすい島です。
是非、病院見学においでください。生活環境についての不安が解消されると思います。

【コンビニ】

ファミリーマート

【ホームセンター】

メイクマン

【レストラン】

大戸屋、Joyful、和風亭、
大阪王将

【スーパーマーケット】

イオン（マックスバリュ）
サンエー、かねひで

【薬局】

ドラッグイレブン、マツモトキヨシ
ドラッグストアモリ、ふく薬局

【ファーストフード】

マクドナルド、モスバーガー、
ケンタッキー、A&W、吉野家、
ミスタードーナツ

【ディスカウントストア】

ドンキホーテ、ビッグワン

【家電量販店】

ヤマダ電機、ベスト電機、
エディオン

【レンタルDVD、CD、コミック】

TSUTAYA、GEO



宮古島には、 プライマリ・ケアの 原点がある

平良字西里出身、自治医科大学校卒
県立中部病院、八重山病院などを経て2004年同病院医療部長、
11年副院長兼医療部長、17年院長就任、22年定年により退任後、
臨床研修センター長就任
2010年地域医療貢献奨励賞を受賞
2022年 沖縄県医事功労者県知事受賞

臨床研修センター長 本永英治

離島医療に立脚し作られた当院研修教育システムは、プライマリケアの原点である”住民と共にくらし住民と共に悩みながら”と唱われる、住民のくらしに近い距離で接することのできる環境で学習することができます。

コバルトブルーの透き通るほどに美しい海に囲まれた宮古島の豊かな自然環境で研修される研修医たちには、離島地域医療の実践に使命を持つ経験豊かな指導医たちが身近にいて、いつでも相談に乗ってくれます。研修医たちには伸び伸びとした宮古島で芽をだし、そして日本中に世界中に飛び立って自由に羽ばたいてほしいと願っています。

当院は、病院という環境における多職種との連携、宮古島という地域における医療関係者との連携、協働で解決していかねば実現できない数々の問題、6つのコア・コンペテンシーを教育ミッションとして抱き活動しています。6つとは、①患者ケア、②医学知識、③診療に基づく学習と改善、④対人スキルとコミュニケーション・スキル、⑤プロフェッショナリズム、⑥システムに基づく診療のことです。

研修医の皆さん、
南の国・楽園・珊瑚の島・宮古島と一緒に学びましょう。



南十字星



病院紹介

～地域の中核病院として～

宮古群島における地域支援病院という機能、役割を背負っており、病床数270床、25科の診療科が設置されています。

当院の大きな役割の1つとして救急医療があります。

1次、2次あるいは3次の救急疾患に対応できるように24時間対応しており、患者の大半は救急室からの入院となっています。

救急室には科を問わず子供から高齢者まで多くの患者が訪れるため、各科のプライマリ・ケアの修得には適した環境です。

宮古島地域の限られた医療資源を最大限活用するには、開業医、診療所、病院、介護施設、老人ホーム、保健所などの医療施設が

互いに連携し、地域の患者に医療サービスを供給することが重要です。

さらに、当病院は地域の紹介患者や重症の急性期疾患などを診ていく、紹介型の専門医療を供給できる病院としての役割も求められています。

また、当地域には附属の離島診療所である多良間診療所もあり、

僻地医療の使命を受け、医師、看護婦、事務員を配置し、

宮古島のみならず圏域の離島住民の健康を守っており、

地域の中核病院として地域住民一人ひとりいのちの大きさを噛みしめ、日々、努力しています。

① 設立年月日：1950年1月

2013年6月1日 新築移転

② 病床数：270床（※R5年6月16日現在）

一般：200（結核：3、感染症：3も含む）、精神：45、回復期：25

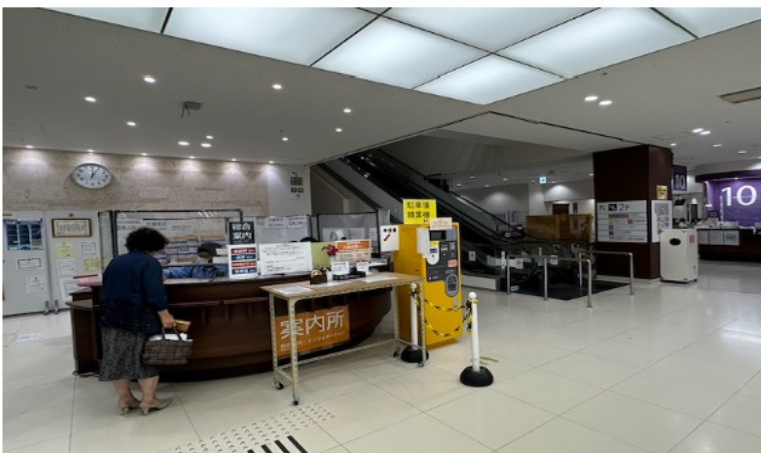
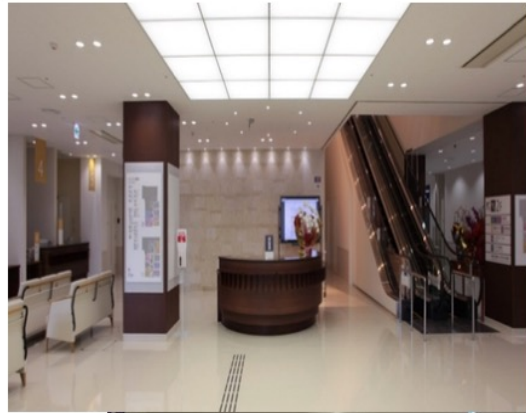
③ 診療科：25科

内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 神経内科 腎臓内科

外科 消化器外科 心臓血管外科 脳神経外科 整形外科 精神科

小児科 皮膚科 泌尿器科 産科 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 救急科

リハビリテーション科 放射線科 歯科口腔外科 麻酔科 病理診断科



初期研修プログラム

研修スケジュール ※年度始めに、ローテーションを決定します。

ローテーション例

1年次	総合診療科 12週	救急 12週	麻酔科 4週	小児科 8週	精神科 4週	産婦人科 8週
2年次	外科 8週	地域医療 4週	内科 12週	選択科目 24週		

必修科目 (68週)

～厚生労働省通知に拠る～

内科 24週以上 救急 12週以上
 地域医療 4週以上 外科 8週以上
 小児科 8週以上 産婦人科 8週以上
 精神科 4週以上

※当院では、外科、産婦人科、小児科は8週を推奨
 ※一般外来研修4週を含む

選択科目 (36週)

～宮古病院初期研修選択科目～

麻酔科 泌尿器科
 リハビリテーション科 眼科
 総合診療科 整形外科
 皮膚科
 及び **必修科目の診療科** (2回目でも構わない)

※地域医療研修は、下記の3パターンから選択出来るよう現在準備中 (R4年5月末時点)

A

総合診療科 (外来研修)

B

慢性期・回復期病床研修
(地域包括ケア病棟)

C

宮古群内の診療所
(多良間診療所)

協力施設・協力型臨床研修病院

<臨床研修協力施設>地域医療研修

※協力施設には4週間の研修を行うことができ、地域包括医療の理念を理解し、福祉・介護、在宅医療を含めた地域に根差した臨床能力を身につける

○多良間診療所

<協力型臨床研修病院>

※4週以上の研修を行うことができ、1つの箇所では得られない様々な症例を経験し、臨機応変な臨床能力を身につける

○国立琉球大学病院病院 (耳鼻咽喉科) ○沖縄県立中部病院 (麻酔科)

○沖縄県立南部医療センター・こども医療センター (放射線科、脳神経外科)

研修医評価

研修管理委員長を中心に、毎月の研修管理委員会で研修到達度を管理し、進捗に応じて各科指導体制と研修プログラムの改善に努めます。また、研修を進めるに当たっては、EPOCなどのプログラム管理におけるサポートツールを活用し、効率的、効果的な研修を実現させます。

他病院からの地域医療プログラム等の受入れについて

当院の基幹型臨床研修病院としての受入れ上限は2名であるものの、琉球大学病院の美ぎ島プログラム (宮古病院で1年、琉大病院で1年) や他病院からの地域医療プログラム受入れにより、北海道から九州まで様々な病院の初期研修医と交流ができます。

プログラムの特色

沖縄県立宮古病院初期研修プログラムのゴールは、患者を生物心理社会性の視点あるいは医療観で理解し、確保した情報に基づく診療技術と安全な治療技術を提供し、プライマリ疾患の初期の診断・治療が安全かつ科学的に計画及び実施できる医師となることです。

本プログラムでは、地域の中で病院を初めとする多くの医療機関が協力、連携することにより、地域住民の健康を支えているという地域医療本来の姿を学ぶことができます。

また、初期研修を通して、文化や歴史など独特の島嶼性、台風などの天候や限定された資源など地理的特性を含めた総合的な価値判断を養うことができます。

豊富な症例

当院は、24科を標榜する島内唯一の総合病院であり、かつ、24時間開かれた全次対応の救急病院です。年間の救急受診者数は約18,000人、救急車搬送数も1,900件です。初期研修医においては、各科上級医のサポートのもと多種にわたる患者の診断、初期治療を担当することができます。また、救急以外の他科においても離島という地理的特性から比較的症例が少ない疾患を除き、可能な限り島内完結の医療を提供することが求められています。特に精神医療、周産期医療については圏域の中で非常に大きな役割を担っており、日々多くの患者が来院しています。

院内連携

各部署の垣根が低いのが特徴で、医師-医師間、医師-看護師間、医師-コディカル間との距離も近く、良好な関係を保ちながらチーム医療を学ぶことができます。また、当院は全職員が500人規模の病院であり、院内で顔の見える関係であるため、意見交換が活発です。さらに、年間を通して様々な病院行事を多数開催し、業務を行いやすい雰囲気づくりに努めています。

指導体制

内科、外科、小児科、救急科、総合診療科、整形外科、精神科、産婦人科、リハビリテーション科、泌尿器科、麻酔科に配置される指導医により指導が行われます。月1回臨床研修管理委員会が開催され研修医の研修進捗状況を確認していく体制がしかれています。

研修医の声



初期研修 5期生 中井 勝也

みなさん初めまして、初期研修医の中井です。
宮古島の透き通ったブルーの海、澄んだ空気、満天の星空、新しく綺麗な病院で初期研修を受けられるのはいかがでしょうか。
一度は働いて見たいけど、離島にあり研修して大丈夫かなと心配される方がいるのではないのでしょうか。
ご安心下さい、宮古病院の医療レベルは高いです。
何より6万人の急性期医療を一手に引き受けているので濃密な経験が出来ます。救急専門医や専攻医が常時3人以上おり、心筋梗塞の緊急カテーテルも脳梗塞の血管内治療も、小児救急もあり、3次救急に行くような疾患や外傷もすべて集まります。プライマリーケアにも力を入れていて初期研修医にとって、非常に学びやすい環境となっています。
約280床の病院でここまで偏りなく診療できる病院は日本全国でも、数少ないのではないのでしょうか。

上級医は、琉球大学病院医局や中部病院、南部医療センターなどの国立、県立病院出身で、優しく教育熱心な先生が揃っています。10年目以下の先生が大部分を占め、気軽に相談しやすい環境です。
また、先生同士が琉球大学や同じ病院の同級生や先輩後輩であり、皆仲良しで診療時間の垣根は全くありません。
地域医療で県外から初期研修医の先生方が来られますが、多くの先生が教育レベルの高さや症例の豊富さに驚かされます。
「百聞は一見にしかず」です。一度見学にお越しください。レジナビオンラインなどのWeb説明会も行っておりますので、是非一度、ご参加ください。

はいさい!

宮古病院での研修が始まり3ヶ月経とうとしています。自分がこの病院を選んだ理由は幅広くいろいろな症例を経験しプライマリーケアをきちんとできるようになりたいと思ったからです。
最初3ヶ月は総合診療科をまわり、実際に自分が担当医として患者さんと接し、日々問題をあげてアセスメントしプランをたて、それをまず自分で考えるということを厳しくも暖かく指導していただきました。島の人が最後にたよる病院でありさまざまな症例をこの短期間のうちにみる事ができました。自衛隊のヘリコプター搬送に同伴することもあり、地域医療の最前線にいたると感じました。



初期研修 2期生 河合 建

ここでの研修はとにかく研修医に経験させてくれるところなんです。最初は一人ではなにもわからない、できないと思って臆していましたが、どんどん症例に触れるうちに自分のできることできないことが明確になり、何をすべきか目標がたつようになりました。学ぶことはたくさんありますが、ここを選んでよかったと感じています。

初期研修医の とある一日

8:00

出勤

研修医宿舎から宮古病院まで
徒歩約10分！

8:15

カンファレンス

8:30

研修スタート



10:30

病棟回診

昼食

12:00

日によって食べる時間はまちまち・・・

お昼過ぎ

入院対応

16:00



当直スタート

17:00



退勤

22:00



おつかれさまでした！

院長のことば

皆様、初めまして、令和4年4月より宮古病院院長を拝命した岸本信三と申します。



沖縄県立 宮古病院
病院長 岸本 信三

沖縄本島から300km離れた宮古島市は、人口は5万4千人の島です。そのため、当院の研修は、地域性と密な関係があり、下記の①～③などの特徴が挙げられます。

①地域医療支援病院としての使命

当院は地域医療の支援病院として、救急医療、小児周産期医療、精神科医療、高度医療、感染症、がん診療などの重要な使命があります。例えば救急診療では、この地域の8～9割近い救急搬送患者を受入れており、一般外来からの重症患者を含めその殆どを当院で完結できるスタッフと設備を有しています。そのため、胎児から高齢者までの幅広い年齢層を診察し、学ぶことができます。また、スタッフの縦横の連携もよく、研修医の修行の場である救急研修では、当直スタッフに気軽に相談できる環境にあり、研修場所は当院内だけでなく、多良間島の離島診療所や市内のクリ

③素晴らしい自然

宮古ブルーと呼ばれる美しいサンゴ礁に囲まれたこの島は、ダイビングや釣りも楽しみであり、空気も澄んで空が高く感じられます。星空観察や島内のウォーキング、ランニング、ドライブなども快適であり、こころも体もリフレッシュできます。

最後に、研修の始めはつらいことや失敗例、あるいは達成感などいろいろな経験があるでしょう。大切なことは、他人と自分を比較することではなく、「より望ましい自分」と比較し、今日より明日に向けて、少しでも歩もうとする意思であり、フィードバックです。そのためにも、患者様、スタッフ、同僚など、どの人にもリスペクトのこころを持って欲しいと思います。

各科の指導医



泌尿器科



総合診療科・内科



外科



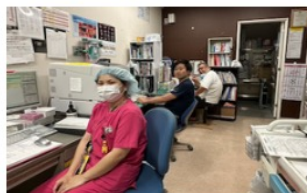
眼科



内科



整形外科



消化器科



小児科



皮膚科



産婦人科



精神科



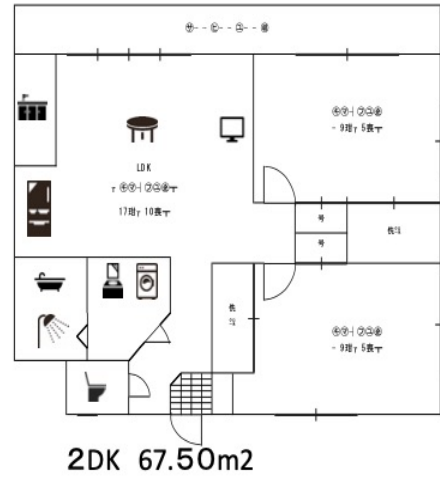
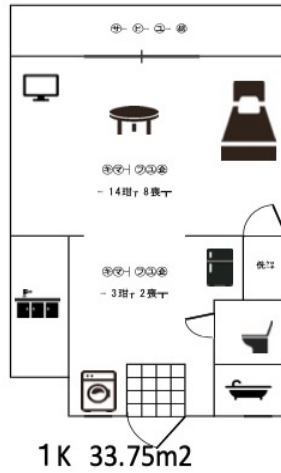
リハビリテーション科

研修医宿舎



宮古病院から徒歩10分の場所に研修医宿舎を設置しております
平成26年4月完成
単身用(1K)4部屋、世帯用(2LDK)2部屋あります
必要最小限の家具は備え付けられているため
トランク1つで入居可能です
駐車場もあります
また、無線LANも整備しているため
休日や帰宅してから勉強できる環境も整っています

(例)



*全部屋 無線LAN利用可能(ただし、以下の利用料負担あり)

*禁煙、ペット禁止

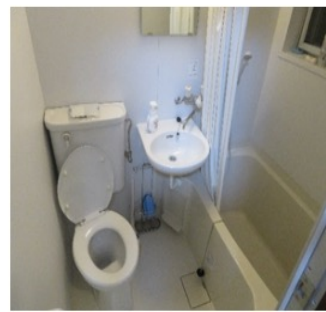
*消耗品や準備してある備品以外のものは、必要に応じてご自身でご準備ください(ウォシュレット設置の希望等)。

*利用料 (令和4年4月時点)

・無線LAN利用料 2,000円/月

*宿舎の備品

テレビ、テーブル、電子レンジ、ガスコンロ、炊飯器、冷蔵庫、洗濯機、掃除機、クーラー等



沖縄県立宮古病院の理念

地域と心かよわせ共に歩む

私たちは、地域の笑顔 (SMILE+PC) を大事にします

S

Service 医療サービス

私たちは、地域住民の声に耳を傾け、誠意ある対応に努めます。

M

Medical team チーム医療

私たちは、互いを尊重し、安全で適切な医療を提供します。
私たちは、医療人として知識、技術の研鑽に努めます。

I

Informed consent インフォームドコンセント

私たちは、患者の権利を尊重し、丁寧な説明のもと、納得できる医療を提供します。

L

Local-area collaboration 地域連携

私たちは、地域の関係機関と連携し、離島の中核病院としての役割を果たします。

E

Environmental sanitation 環境衛生

私たちは、患者が快適な医療を受けられる環境作りに努めます。
私たちは、職員が生き生きと働ける職場を作ります。

P

Personal Information Protection 個人情報保護

私たちは、個人を尊厳し、個人情報保護と守秘義務文化の醸成に努めます。

C

Culture of Cooperation 助け合いの文化

私たちは、組織内のあらゆる対人関係で助け合いの文化の醸成に努めます。



募集要項

初期研修医

病院見学も随時受付けております。
お気軽にお問合せください。
6年次じゃなくても歓迎しております。

- 募集人数** 2名
- 申込期間** 5月から随時
- 応募資格** 当該年度医学部卒業見込みの者及び医師免許取得見込みの者
- 必要書類** 履歴書(指定様式)、写真、返信用封筒、卒業見込証明書、成績証明書
(詳細はホームページを御参照ください。)
- 選考方法** 書類及び面接による選考
- 処遇** 新地方公務員法第22条の2第1項に定める一般職の地方公務員(会計年度任用職員)
- 報酬額** 1年次:月額 289,200円
2年次:月額 297,200円 ※2023年3月31日現在
- 手当** 時間外勤務手当、期末手当、通勤手当(片道2km以上)、休日勤務手当、退職手当
- 勤務時間** 8:30~17:00(休憩45分)※常勤職員
- 当直** 月6回(17:00~24:00)
- 病院内個室** なし
- 健康管理** 年1回の健康診断あり
- 医師賠償責任保険** あり
- 外部の研修活動** あり
- アルバイトの有無** なし
- 有給休暇** 採用1年目:10日(継続期間2ヶ月満了了り日、以降5ヶ月満了までの1ヶ月毎に1日付与。6ヶ月満了した翌日に6日付与)
採用2年目:11日(継続期間1年2ヶ月満了した翌日に11日付与)
(前年度に付与された年次有給休暇で、消費できなかったものについては、翌年に限り繰越し可)
- 社会保険** 採用1年目:健康保険・厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険(6ヶ月)
採用2年目(原則):地方公務員共済組合、地方公務員災害補償基金
- 問合せ先** 沖縄県立宮古病院 総務課(人事・給与担当 中村)
臨床研修センター(見学・実習受入担当 仲宗根)
〒906-0013 沖縄県宮古島市平良字下里427-1
TEL:0980-72-3151 FAX:0980-79-5110
E-mail miyako_rinken@hosp.pref.okinawa.jp



【連絡先】

沖縄県立宮古病院

総務課 臨床研修センター

〒906-0013 沖縄県宮古島市平良字下里427-1

TEL:0980-72-3151 FAX:0980-79-5110

E-mail miyako_rinken@hosp.pref.okinawa.jp

(総務課 中村、臨床研修センター 仲宗根まで)